

10月3日の学習会の様子です。

テーマは「がんを早く見つけよう」でした。

青森県は、がんで亡くなる方が全国で二番目に多いですが、がんを発症する率（罹患率）は全国と同水準です。本県のがん検診受診率は50%を下回っていて、がん検診を受けておらず、発見が遅れてしまい、治療が期待できる段階で発見される人が少ないのです。

大腸がんの死亡率は日本一です。大腸がんの検診では、便潜血（べんせんけつ）検査を受けた方7101人の内、大腸がんを発見できたのは26人、内視鏡検査を受けた2253人の内、大腸がんを発見できたのは21人でした。便潜血検査は食事制限などもなく、簡単に受けることができます。がんは早期に発見されるほど生存率が格段に高まります。

検診を受けましょう。



今月も沢山の方が学習会に参加してくださいました。
また来月もお会いしましょう！